

第2回 地域別懇談会の結果（東部地域）

1 開催概要

【日 時】平成 25 年 2 月 7 日（木）19:00～21:00

【場 所】大代地区公民館

【参加者数】12 名

【説明事項】

- ・ 都市計画マスタープランの策定目的及び位置付けについて
- ・ 第 1 回地域別懇談会で出された意見等のマスタープランへの反映状況
- ・ 策定中の都市計画マスタープランの基本構想（案）及び地域別構想（案）について

【意見交換】

- ・ 将来の多賀城市の姿（基本構想（案））について
- ・ 将来の地域の姿及びまちづくり方針（地域別構想（案））について
- ・ 自分達が取り組める住民主体のまちづくりについて



2 出された主な意見

1 将来の多賀城市の姿（基本構想（案））について

多賀城市の将来都市像を実現するために必要な視点等について意見が出された。

- もう少し夢が持てる考え方や表現があるとよい。
- 観光を産業にする、歴史を大切にするといった考え方があるとよい。
- 安全の確保が大前提である。
- 誇りを持てる街、住みたいと思える街にしていくことは大切である。
- 周辺都市との連携など広域的な視点を持つことが大切である。

2 将来の地域の姿及びまちづくり方針について

地域のまちづくりを進める際の留意点について意見が出された。

- 東部地域の一部は浸水区域であり、まちづくりの方向性にある“豊かな水”という表現には抵抗がある。
- 回遊性が高まる歩道ネットワークを構築してほしい。
- 散歩しやすい歩道を整備してほしい。
- 砂押川や貞山運河の魅力を高める取り組みを進めてほしい。
- 自然環境に配慮した工業地づくりを進めてほしい。

3 自分達が取り組める住民主体のまちづくりについて

自分達が取り組めるまちづくりの提案と実践するための課題について意見交換を行った。

<取り組めるまちづくり>

- 空き地を活用した公園づくり
- 砂押川沿いでの散歩道づくり（モデル的に取り組む）
- 草むしりなどの清掃活動

<実践するための課題>

- 参加者が少なく、増えないのが問題である。
- リーダーや活動をサポートする人を育てていく必要がある。
- アパートや分譲マンションの住民に参加してもらえよう働きかけが必要である。
- 活動する場の確保が必要である。